

平成 26 年度 国立国会図書館 科学技術論文誌・会議録データベースに係るアンケート
単純集計結果

平成 27 年 1 月から 2 月まで、当データベースへのご意見、学協会が発行される資料の状況、納本の状況及び資料のデジタル化の状況などのアンケートを行いました。

実施期間	アンケート送付数（枚）	有効回答数（件）	回答率（%）
平成 27 年 1 月～2 月	1,096	665	60.7%

貴会について

Q1. 貴会の名称をご記入ください。

回答数 663 件

Q2. ご担当者の連絡先をご記入ください。

回答	回答数	(有効回答数 665)
ご担当者のお名前	640	
電話番号	650	
メールアドレス	653	

貴会の資料について

Q3. 最近 1 年間に刊行配布した学協会資料のタイトル、刊行形態などを教えてください。一覧できるホームページなどがありましたら、URL またはページ名（検索エンジンで検索可能なキーワード）をご記入ください。

刊行物種別	件数	タイトル数	(有効回答数 665)
(1)学会誌・論文誌	651	745	
(2)会議録	479	628	
(3)その他の刊行物	168	248	
(主な 内訳)	会報・ニューズレター	(55)	—
	用語集	(14)	—
	ガイドライン	(13)	—
	ハンドブック	(7)	—
	テキストブック	(7)	—
	辞書・事典	(7)	—

(1) 学会誌・論文誌について

①タイトル、URL／ページ名

回答数 651 件 (745 タイトル)

②お答えくださった資料は納本されていますか。

回答	回答数	%	(有効回答数 651)
はい	556	85.4	
いいえ	68	10.4	
無回答	27	4.1	

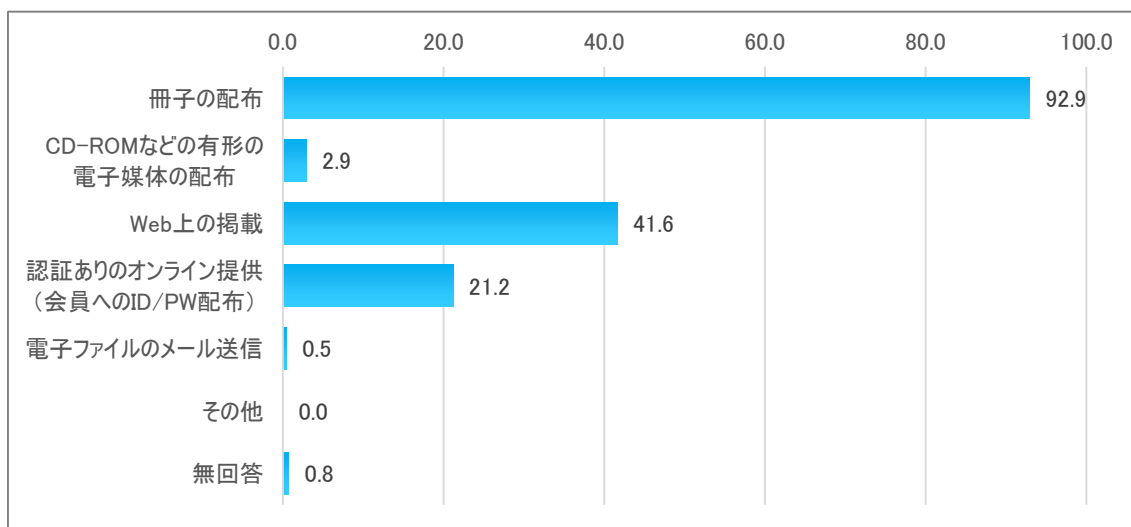
上で「いいえ」にチェックされた方にお尋ねします。納本できなかった理由は次のどれですか？

カテゴリ	度数	%	(有効回答数 68)
納本制度を知らなかったのでこれから納本する。	17	25.0	
部数が足りなかった。	7	10.3	
その他	40	58.8	
	オンライン資料であるため	(26)	(38.2)
	納本対象ではないと認識しているため	(4)	(5.9)
	海外出版社から刊行しているため	(3)	(4.4)
無回答	4	5.9	

「その他」でオンライン資料であるためと回答した学協会 26 件のうち、J-STAGE へ掲載していると回答した学協会が 10 件、海外出版社のホームページへ掲載していると回答した学協会が 5 件でした。

③刊行形態（複数回答可）

カテゴリ	度数	%	(有効回答数 651)
冊子の配布	605	92.9	
CD-ROM などの有形の電子媒体の配布	19	2.9	
Web 上の掲載	271	41.6	
認証ありのオンライン提供(会員への ID/PW 配布)	138	21.2	
電子ファイルのメール送信	3	0.5	
その他	0	0.0	
無回答	5	0.8	



④「冊子の配布」にチェックした方にお尋ねします。今後、冊子での配布をやめて電子媒体での資料配布またはオンライン提供に変更する予定はありますか？

回答	回答数	%	(有効回答数 605)
はい	70	11.6	
いいえ	476	78.7	
無回答	59	9.8	

(2) 会議録について

①タイトル、URL／ページ名

回答数 479 件 (628 タイトル)

②お答えくださった資料は納本されていますか。

回答	回答数	%	(有効回答数 479)
はい	275	57.4	
いいえ	160	33.4	
無回答	44	9.2	

上で「いいえ」にチェックされた方にお尋ねします。納本できなかった理由は次のどれですか？

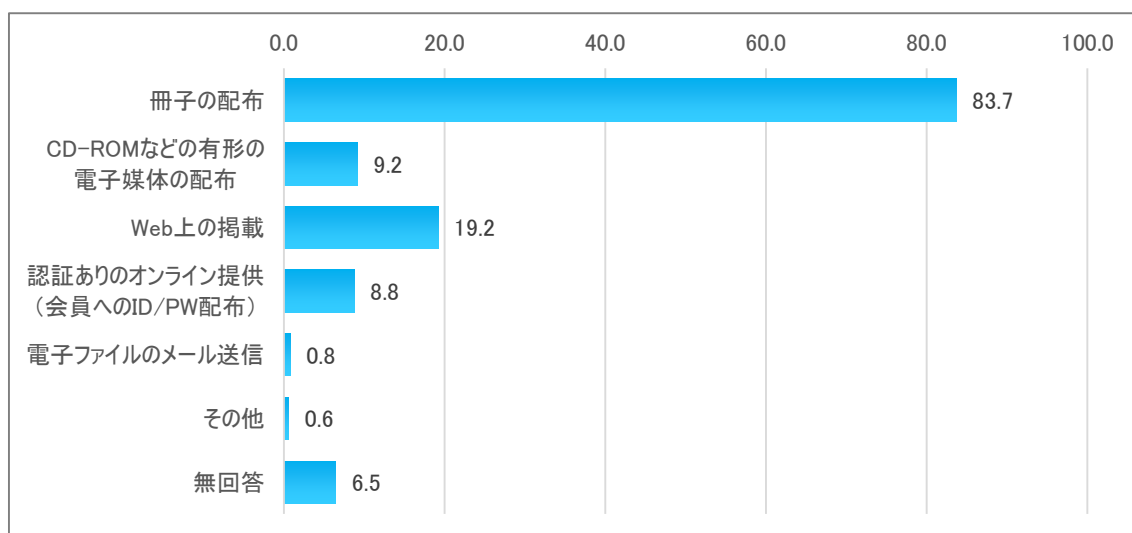
カテゴリ	度数	%
納本制度を知らなかったのでこれから納本する。	46	28.8
部数が足りなかった。	12	7.5
その他	88	55.0
オンライン資料であるため	(17)	(10.6)
会議参加者のみへの配布のため	(10)	(6.3)
学協会内部の資料であるため	(8)	(5.0)
無回答	14	8.8

(有効回答数 160)

③刊行形態（複数回答可）

カテゴリ	度数	%
冊子の配布	401	83.7
CD-ROMなどの有形の電子媒体の配布	44	9.2
Web上の掲載	92	19.2
認証ありのオンライン提供(会員へのID/PW配布)	42	8.8
電子ファイルのメール送信	4	0.8
その他	3	0.6
無回答	31	6.5

(有効回答数 479)



④「冊子の配布」にチェックした方にお尋ねします。今後、冊子での配布をやめて電子媒体での資料配布またはオンライン提供に変更する予定はありますか？

回答	回答数	%	(有効回答数 401)
はい	25	6.2	
いいえ	343	85.5	
無回答	33	8.2	

(3) その他の刊行物について

①タイトル、URL／ページ名

回答数 168 件 (248 タイトル)

「その他の刊行物」としては、会報・ニュースレター 55 件、用語集 14 件、ガイドライン 13 件、ハンドブック、テキストブック、辞書・事典 各 7 件などが挙げられています。

②お答えくださった資料は納本されていますか。

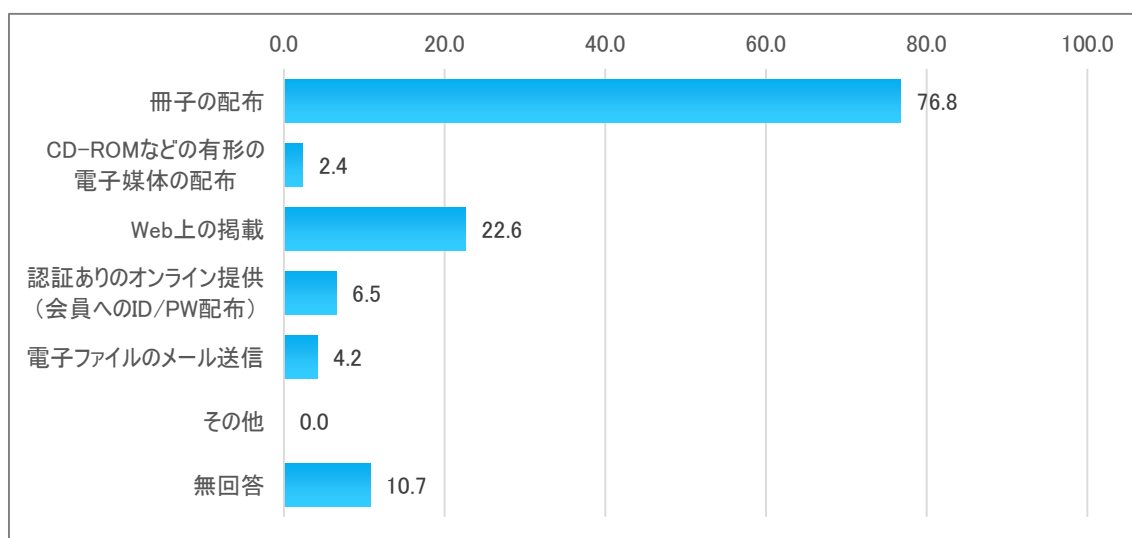
回答	回答数	%	(有効回答数 168)
はい	76	45.2	
いいえ	70	41.7	
無回答	22	13.1	

上で「いいえ」にチェックされた方にお尋ねします。納本できなかった理由は次のどれですか？

カテゴリ	度数	%	(有効回答数 70)
納本制度を知らなかったのでこれから納本する。	17	24.3	
部数が足りなかった。	6	8.6	
その他	38	54.3	
	オンライン資料であるため	(8)	(11.4)
	会員のみへの配布のため	(5)	(7.1)
無回答	9	12.9	

③ 刊行形態（複数回答可）

カテゴリ	度数	%	(有効回答数 168)
冊子の配布	129	76.8	
CD-ROM などの有形の電子媒体の配布	4	2.4	
Web 上の掲載	38	22.6	
認証ありのオンライン提供(会員への ID/PW 配布)	11	6.5	
電子ファイルのメール送信	7	4.2	
その他	0	0.0	
無回答	18	10.7	



④ 「冊子の配布」にチェックした方にお尋ねします。今後、冊子での配布をやめて電子媒体での資料配布またはオンライン提供に変更する予定はありますか？

回答	回答数	%	(有効回答数 129)
はい	19	14.7	
いいえ	95	73.6	
無回答	15	11.6	

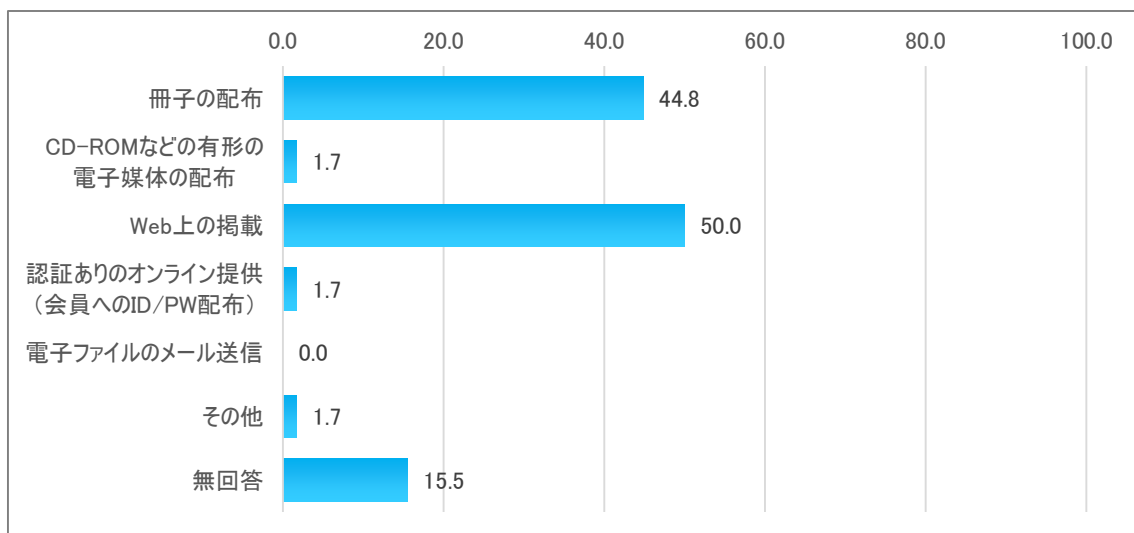
Q4. 最近 1 年間に刊行配布した東日本大震災をテーマとした刊行物について、教えてください。一覧できるホームページがありましたら、URL またはページ名（検索エンジンで検索可能なキーワード）をご記入ください。

①タイトル、URL／ページ名

回答数 58 件（58 タイトル）

②刊行形態（複数回答可）

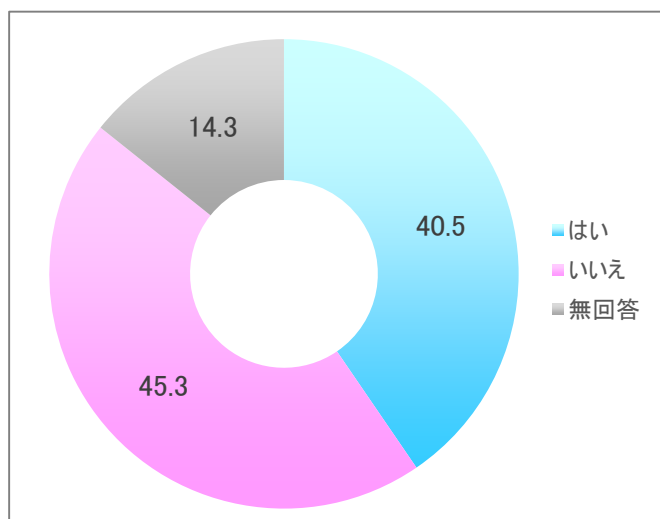
カテゴリ	度数	%	(有効回答数 58)
冊子の配布	26	44.8	
CD-ROM などの有形の電子媒体の配布	1	1.7	
Web 上の掲載	29	50.0	
認証ありのオンライン提供(会員への ID/PW 配布)	1	1.7	
電子ファイルのメール送信	0	0.0	
その他	1	1.7	
無回答	9	15.5	



Q5. 外国語で書かれた学術雑誌（和文併記を含む）を刊行されていますか。

カテゴリ	度数	%
はい	269	40.5
いいえ	301	45.3
無回答	95	14.3

(有効回答数 665)



Q6. Q5で「はい」にチェックした方にお尋ねします。外国語で書かれた学術雑誌のタイトルと出版社を教えてください。

回答数 267 件 (274 タイトル)

Q7. Q5で「いいえ」にチェックした方にお尋ねします。今後英文誌を刊行する予定はありますか。

カテゴリ	度数	%
はい	13	4.3
いいえ	249	82.7
無回答	39	13.0

(有効回答数 301)

貴会の資料のデジタル化について

Q8. 過去に貴会で刊行配布した資料のデジタル化状況について教えてください。

(1) 既にデジタル化した過去の刊行物について

① デジタル化済み刊行物の種類と対象範囲（複数回答可）

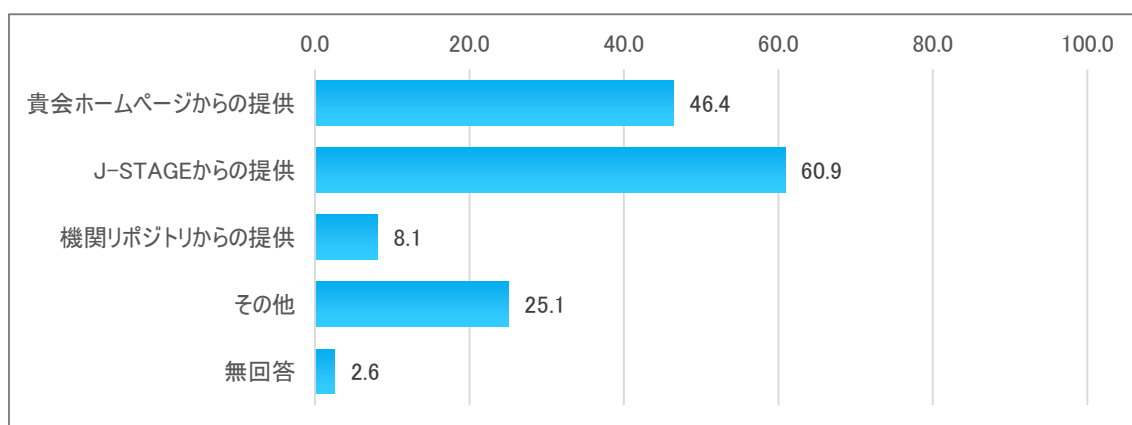
回答	回答数	刊行物ごとの内訳(%)*
学会誌・論文誌	486	(100)
一部	211	43.4
全部	219	45.1
無記入	56	11.5
会議録	146	(100)
一部	92	63.0
全部	51	34.9
無記入	3	2.1
その他の刊行物	61	(100)
一部	48	78.7
全部	12	19.7
無記入	1	1.6
東日本大震災をテーマとした刊行物	23	(100)
一部	9	39.1
全部	11	47.8
無記入	3	13.0
無回答	159	—

* 各刊行物についての全回答数(Q3(1)①、(2)①、(3)①、Q4①参照)を100%とした場合の、一部をデジタル化、全部をデジタル化、一部／全部について無記入、の割合。

② デジタル化済み刊行物の提供方法（複数回答可）

回答	度数	%
貴会ホームページからの提供	235	46.4
J-STAGE からの提供	308	60.9
機関リポジトリからの提供	41	8.1
その他	127	25.1
無回答	13	2.6

(有効回答数 506)



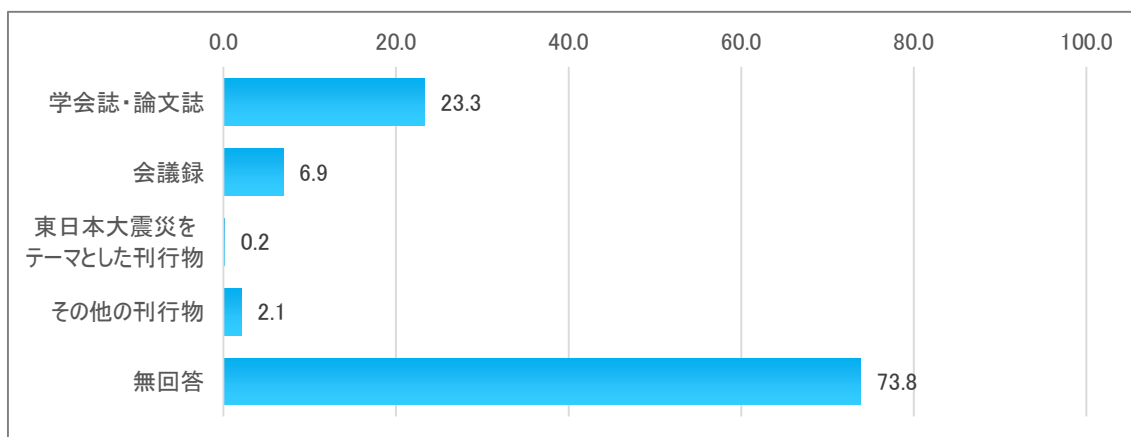
「その他」のうち、出版社のホームページからの提供と回答した学協会が 24 件ありました。そのうち、海外出版社は 17 件でした。また、国立情報学研究所の学術情報検索サービス CiNii からの提供と回答した学協会が 30 件、National Center for Biotechnology Information の PubMed Central から提供していると回答した学協会が 3 件ありました。また、民間の文献検索サービスからの提供と回答した学協会が 25 件ありました（そのうち 23 件は医学系）。

(2) 今後のデジタル化のご予定・ご要望について

① デジタル化の予定のある過去の刊行物の種類（複数回答可）

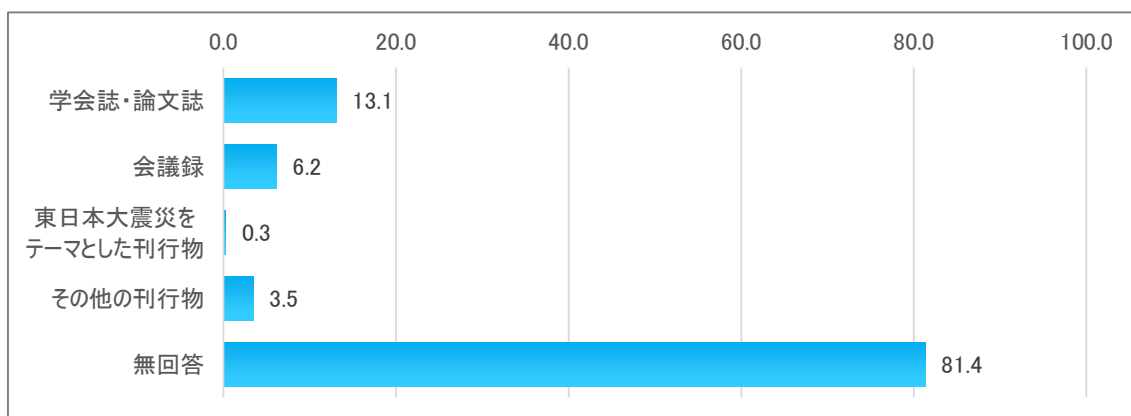
回答	度数	%
学会誌・論文誌	155	23.3
会議録	46	6.9
東日本大震災をテーマとした刊行物	1	0.2
その他の刊行物	14	2.1
無回答	491	73.8

(有効回答数 665)



② 予定はないが、将来的にはデジタル化したいと考えている過去の刊行物の種類（複数回答可）

回答	度数	%	(有効回答数 665)
学会誌・論文誌	87	13.1	
会議録	41	6.2	
東日本大震災をテーマとした刊行物	2	0.3	
その他の刊行物	23	3.5	
無回答	541	81.4	



科学技術論文誌・会議録データベースについて

Q9. 科学技術論文誌・会議録データベース、国立国会図書館へのご意見、ご質問等がございましたら、ご記入ください。

回答数 41 件

記入内容については、電子ジャーナルに関すること（J-STAGE など）が 4 件、科学技術論文誌・会議録データベースに関することが 3 件、納本制度に関することが 5 件でした。